

競技注意事項 8月27日時点

1. 競技規則について

本大会は最新の WA 競技規則、2025 年度日本陸上競技連盟競技規則、競技会における広告および展示物に関する規程、並びに本大会競技注意事項、申し合わせ事項に従って実施する。

2. 招集について

- (1) 第一次招集は、南東側ゲート(1500m スタート側)に設ける招集所にて行う。番組編成にある本人の組・レーンを確認し、ナンバーに○をつけること。その際、選手本人がユニフォームを着用した状態で集まり、胸アスリートビブス・腰ナンバーカード・競技使用予定シューズ・商標の確認を受けて招集完了とする。招集所内には原則として5分前から入場可能とし、確認後は招集完了時刻まで招集所内に待機することとする。
- (2) リレー競技の第一次招集は、出走者4名全員が受けること。その際に、アスリートビブス・商標・同一ユニフォームであるかを確認する。
- (3) TR24.12 に従いリレーのオーダー用紙は、第1次招集の招集完了時間までに TIC に提出すること。TIC は南東側ゲート(1500m スタート側)に設ける
- (4) リレーオーダー用紙提出後の選手変更は、本大会の医師、医務員の判断がない限り認められない。この規則に従わなければチームは失格となる。
- (5) 同一時間に2種目以上出場する競技者、および競技中のため他の種目の第一次招集を受けられない競技者は、当該種目の第一次招集完了時刻までに重複出場届を TIC に提出すること。
- (6) 重複出場届を提出した場合も、必ず本人または代理人が第一次招集を受けなければならない。その際、重複出場届の控えを持参すること。
- (7) 重複出場届を提出した代理人は第二次招集に参加し、出発係にその旨を報告し本人が来るまで責任を持つこと。
- (8) 招集は、招集所にて下記の通り行う。

種 目	第一次招集		第二次招集
	招 集 開 始 時 刻	招 集 完 了 時 刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前	競技開始 10 分前
跳躍種目(棒高跳以外)	競技開始 70 分前	競技開始 60 分前	競技開始 30 分前
投 擲 種 目	競技開始 60 分前	競技開始 50 分前	競技開始 30 分前
棒 高 跳	競技開始 100 分前	競技開始 90 分前	競技開始 60 分前

- (9) リレーオーダー用紙・重複出場届・当日欠場届・混成競技途中棄権届は TIC にて配布する。

3. 欠場・選手変更について

- (1) 9月10日(水)正午までに事前欠場届を関西学連(icaak.rec@gmail.com)までメールにて提出すること。
- (2) 当日欠場は原則として認めない。やむを得ない場合に限り、当該種目の競技当日に、当日欠場届を当該種目の第一次招集開始時刻までに TIC に提出することで欠場が認められる場合がある。その場合、次項が適用され、その後の種目に出場できないことがある。
- (4) 当日欠場届には、監督および本人のサインを記入すること。
- (5) リレー競技の当日欠場についても上記の手続きを満たし、第一次招集完了時刻(リレーオーダー用紙提出締切時刻)までに当日欠場届を提出すること。
- (6) 混成競技において途中棄権する場合は、必ず混成競技係に申告の上、混成競技途中棄権届を早急に TIC に提出すること。

4. 競技者の服装について

- (1) 同一大学は、原則として同一のデザインのユニフォームを着用すること。これはリレー競技に限らず、すべての種目について適用する。
- (2) 競技会における広告および展示物規程により、競技場内で着用できる衣類等に掲出できる製造会社名/ロゴ、スポンサー名/ロゴの大きさ、数については、HP 掲載の別紙『競技会における広告および展示物に関する規程〔国内〕』を必ず確認すること。違反した場合にはテープ等でマスキング処置を行う。
- (3) アスリートビブスは必ず本大会用のアスリートビブスを使用し、ユニフォームの胸部および背部に折り曲げたりせずに明瞭につけること。ただし、跳躍競技においては胸部または背部の一方だけでよい。
- (4) 全てのトラック競技の腰ナンバーカードは右腰に明瞭につけること。ただし、1500m以上からは両腰につけること。腰ナンバーカードは招集所にて配布する。
- (5) 5000m、10000m、10000mW に関しては、第一次招集時に腰ナンバーカード(右腰)に加え、トランスポンダー付きの腰ナンバーカード(左腰)と番号をあわせた長距離専用別アスリートビブスを配付する。また、2 枚の腰ナンバーカードおよび長距離専用別アスリートビブスは競技終了後、必ず競技者係に返却すること。
- (6) 混成競技の各日最終種目の腰ナンバーカードは、現地招集時に現地にて受け取ること。
- (7) 本大会は TR5 ルールを適用し、規格外のシューズ使用は全て禁止とする。

5. 競技用器具について

- (1) 使用器具は原則として競技場備え付けのものを使用すること。ただし、個人所有の砲丸・円盤・ハンマー・やりの使用を希望する場合は、競技開始の 90 分前に TIC（1500m スタート地点）に預かり証・投擲物を提出し、検定に通れば、2 個まで使用することができる。検査は北側用器具倉庫(100m スタート付近)で行う。別紙の投擲物についても参照すること。
- (2) 棒高跳用ポールは、各自で持ち込んだものを使用すること。
- (3) リレーおよびフィールド競技のマークは、養生テープを使用すること。競技場保護のため、それ以外のテープは認めない。

6. 混成競技について

- (1) 別紙「混成競技申し合わせ事項」に従うこと。競技時間の遅れなどは、アナウンスで連絡する。

7. トラック種目について

- (1) 5000m・10000m・10000mWに関しては、制限時間を設ける。各レーススタート後、次に記載している時間の経過時点で残り1周に達しなかった競技者は、その週のフィニッシュラインで競技を中止させる。

	5000m	10000m	10000mW
男 子	18 分	35 分	55 分
女 子	21 分	42 分	65 分

- (2) 5000m 以上の競技において気象状況により給水を行う場合がある。
- (3) 救急搬送防止および選手の安全確保のため、競技役員が競技者の体調を見て、医師または医務員と協議のうえレースを中止させる場合がある。その場合、必ず指示に従うこと。
- (4) 本競技会は SIS（スタートインフォメーションシステム）を使用しないため、不正スタートの判定は目視で行う。

8. フィールド種目について

(1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。

種目	種別	ラウンド	練習	試技開始	2	3	4	5
走高跳	男子	予選	1m85 2m00	1m90	1m95	2m00	2m03	<u>2m06</u>
		決勝	1m95 2m10	2m00	2m05	2m10	以降 3 cm 刻み	
	女子	予選	1m45 1m60	1m50	1m55	1m60	1m63	<u>1m66</u>
		決勝	1m55 1m70	1m60	1m65	1m70	以降 3 cm 刻み	
棒高跳	男子	予選	4m40 4m80	4m60	4m80	4m90	<u>5m00</u>	
		決勝	4m60 5m00	4m80	一律 10 cm 刻み			
	女子	予選	3m00 3m40	3m20	3m40	3m50	<u>3m60</u>	
		決勝	3m20 3m60	3m40	一律 10 cm 刻み			

※混成種目の走高跳及び棒高跳のバーの上げ方は別紙「混成競技申し合わせ事項」に従う。

- (2) 男子走高跳・女子走高跳・男子棒高跳・女子棒高跳において予選通過標準記録を設ける。予選通過標準記録を突破したものが決勝に進出でき、予選通過標準記録を超えた競技者が 12 名に満たない場合は、予選記録上位 12 位まで決勝に進出させる。
- (3) 悪天候などの不測の事態が発生した場合は、総務・審判長・関西学連の協議により設定の高さを変更し競技を行う場合がある。
- (4) 競技者が 1 人となった場合のバーの上げ方は、本人の希望により決める。（競技規則 TR. 26. 4）
- (5) 三段跳の踏切板の位置は、男子は 13m、女子は 11m とする。
- (6) 走幅跳（混成競技含む）及び三段跳の踏切判定には、粘土板を使用する。（ビデオカメラは使用しない）
- (7) 跳躍種目の公式練習は、競技役員の指示に従うこと。
- (8) 棒高跳の公式練習を行う際はゴムバーを使用する。
- (9) 投擲種目の公式練習は 2 回までとする。ただし、ハンマー投は 1 回とする。
- (10) 現場の審判員が許可を与えた上でコーチ席にアドバイスを聞きに行くことが出来る。しかし、審判員の指示に従わない場合は選手・コーチに警告を与え、さらに続いた場合は審判長・総務・関西学連等で協議し対処する。（競技規則 TR6. 2）
- (11) 走幅跳、三段跳、投擲競技の試技回数は 3 回とし、3 回試技の結果上位 8 名は追加で 3 回の試技を行い順位を決定する。

9. 対校得点について

(1) 各種目の対校得点は下記の通りとする。

[対校得点]

順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位
対校得点	8 点	7 点	6 点	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点

- (2) 総合得点が同点の場合は、優勝種目数の多い大学を上位とする。優勝種目数が同じ場合は 2 位種目数の多い大学を上位とし、以降 3～8 位まで同様に比較する。以上の点で同じ場合は同順位とする。
- (3) エントリー時点で競技者が 5 大学かつ 12 名未満となった種目については得点対象としない。

10. 抗議の申し立てについて

- (1) 競技の結果または競技実施に関する抗議は、結果が正式に発表されてから、30 分以内に、その競技者あるいはチームの監督が口頭で TIC を通じて審判長に申し出なくてはならない。(競技規則 TR8. 2. 8. 3)
- (2) 審判長の裁定に不服な場合には、ジュリーに上訴できる。審判長裁定後 30 分以内に、TIC にて上訴申立書を記入し、預託金 1 万円を添えて提出すること。その結果は最終的なものとなる。(競技規則 TR8. 7. 2)
- (3) 抗議受付は TIC に設ける。必要用紙に記入し、行うこと。

11. 悪天候、暑熱等の対応

- (1) 競技の実施が不可能となることが予想される場合(雷・暴風・暑さ指数 31 度を超えた場合)には、主催者・総務・審判長で方針を協議する。
- (2) 当日朝 6:00 の時点で**暴風警報**が発令されていた場合、12:00 迄に 1 次招集を予定していた競技を中止とし、12:00 に解除されていた場合、以降の 1 次招集が予定されていた競技は実施する。同時刻に解除されていない場合、その日の競技を中止し、その後の競技日程については別途、主催者・総務・審判長で方針を協議する。
- (3) 当日の暑熱を考慮の上、主催者・総務・審判長で方針を協議し、フィールド競技の予選試技数を減じるなどの対応をすることがある。
- (4) 中止種目の得点は、どの大学の対校得点にも加算しない。
- (5) 中止となった種目のエントリー料の返金は行わない。

12. その他

- (1) 記録の正式発表は大型ビジョンにて行う。
- (2) 事前欠場者の人数により、番組編成を変更する場合がある。
- (3) 記録証明書の発行を希望する場合は、正面玄関に設けるインフォメーションセンターへ発行手数料 300 円を添えて申し込むこと。
- (4) 競技場内へ立ち入る際、競技場保護のためヒール等の底の固い靴は一切禁止し、アップシューズもしくはスニーカーで入場すること。学生審判・補助員も同様とする。
- (5) 競技者は競技区域内にビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を持ち込めない。
(競技規則 TR6. 3. 2) ただし、フィールド種目に出場している競技者は映像を撮影した人とコミュニケーションをとりながら録画再生機器を手にしても良い。(競技規則 TR6. 4. 5)
- (6) 競技が終了した競技者は競技役員の誘導の元、必ずミックスゾーンを通過して退場すること。
- (7) 注意事項及び学生競技者としてのマナーを逸脱した行為などが見受けられた場合、その学生の所属する大学の以降の競技を中止させ処罰を与える。
- (8) 大会期間中に疑問な点があれば、大会本部まで申し出ること。

関西学生陸上競技連盟